

# 地域とともに歩む瓜生っ子

## 若狭町立瓜生小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	10回(のべ) 10日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	22人
授業ボランティア(含:低ボラ)	126人
登下校支援ボランティア	855人
その他( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」
--------------

#### 具体的活動内容

瓜生っ子学習発表会(郷土の自然や、歴史、文化とふれあう機会を充実させ、ふるさとのよさを発見し、ふるさとへの愛着心を育てる取組)

2学期末の発表会(保護者および地域に学校を公開し実施)に向けて、年度当初から全学年でふるさと学習を行ってきた。

1、2年生は生活科の学習を中心に、町探検で地域に出かけ調べ学習を行った。3年生以上は、学年毎にテーマを決め、総合的な学習の時間等を利用して体験活動や調査活動を行った。

3年生は、地域の野菜作り名人の指導を受けながら、学校園での野菜作りに取り組んだ。地域の天候や土壌に適した栽培方法は、瓜生地区で暮らす人だからこそ分かることと感心しながら教えていただいた。

4年生は、「食・伝統・福祉」に目を向けた学習に取り組み、郷土料理を調べたり実際に調理したりする際に、地域の方々の協力を得た。また、古くから伝わるものを調べたり、地域の福祉施設と交流する中で多くの方とのふれあいを体験した。

5年生は、地域の方にお世話になりながら米作りに挑戦した。田んぼの代掻き、田植え、草取り、水管理、稲刈り、脱穀等すべてが初めての経験であり、手取り足取りでの指導を受けながら進めていった。

6年生は、「瓜生地区の達人に学ぶ」をテーマにして、歴史や文化を学んだ。地元の土を使った焼き物の達人、校区内にある古墳について詳しい達人、自然農法とビオトープ作りの達人等多くの方の協力を得て学習を行った。



稲刈りで穂の結び方を学ぶ



焼き物の達人から学ぶ



古墳の達人から学ぶ

#### 成果と課題

児童は、ふるさとの自然や歴史文化等の調べ学習で、地域に出かけて話を聞いたり、地域の方々にゲストティーチャーとして学校に招いたりしながら学習を進めた。このような取組により、地域の方々との相互連携が深まり、児童のふるさとへの愛着心が着実に育っている。

また、今年度から学校ホームページの教育活動紹介コーナーの更新を週2回のペースで行い、地域の方々はじめ多くの方に学校の取組を紹介することにより、相互の信頼を深めることができたと考えられる。

来年度も、児童が地域に出かける機会を増やし、学校を開くことでより多くの方に学校に足を運んでいただく工夫をし、より地域と密着した教育活動を展開していきたい。

